

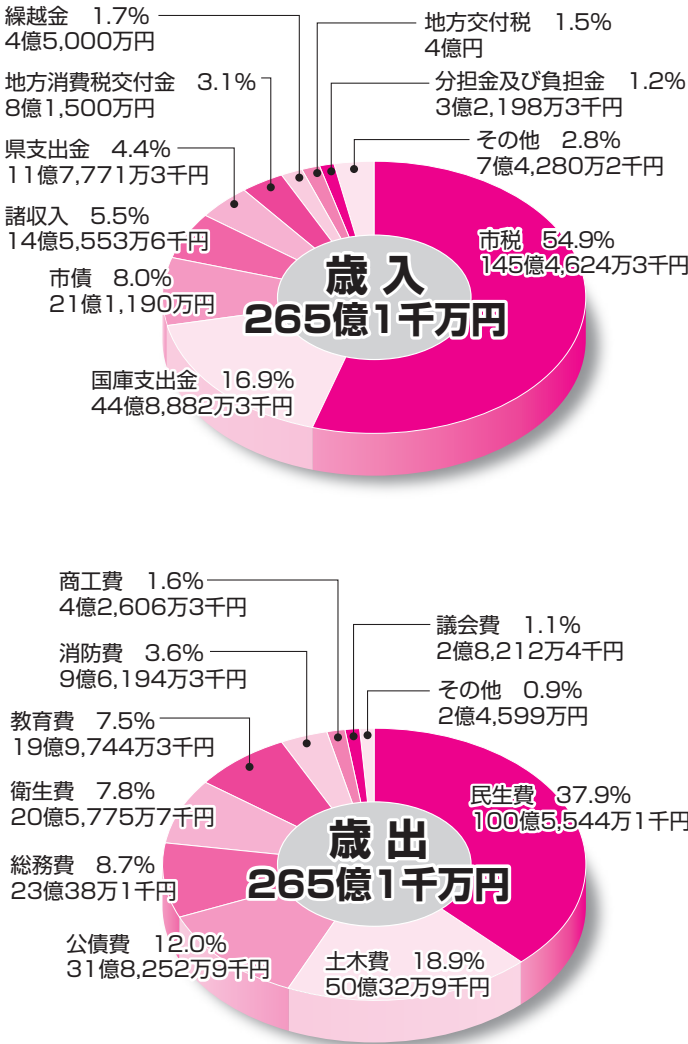
平成25年度当初予算の概要

平成25年度会計別予算総括表

(単位：千円、％)

会計区分		年 度	平成25年度	平成24年度	対前年度比	
			予算額A	予算額B	増減額 C(A－B)	増減率 C／B×100
一 般 会 計（ア）			26,510,000	26,100,000	410,000	1.6
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険		9,845,461	9,730,441	115,020	1.2
	公 共 下 水 道		3,505,000	4,739,000	△ 1,234,000	△ 26.0
	稲 荷 伊 草 第 二 土 地 区 画 整 理		106,500	89,442	17,058	19.1
	鶴ヶ曽根・二丁目 土 地 区 画 整 理		90,450	139,521	△ 49,071	△ 35.2
	大瀬古新田土地区画整理		358,300	380,545	△ 22,245	△ 5.8
	西袋上馬場土地区画整理		807,100	800,029	7,071	0.9
	南 部 東 一 体 型 特 定 土 地 区 画 整 理		1,540,000	1,600,000	△ 60,000	△ 3.8
	介 護 保 険		3,791,039	3,443,643	347,396	10.1
	後 期 高 齢 者 医 療		619,782	573,464	46,318	8.1
	計（イ）		20,663,632	21,496,085	△ 832,453	△ 3.9
上水道事業会計(企業会計)(ウ)			3,231,782	3,234,632	△ 2,850	△ 0.1
合 計(ア+イ+ウ)			50,405,414	50,830,717	△ 425,303	△ 0.8

平成25年度一般会計予算内訳



討 論

反対討論（日本共産党）

市税は前年度比で3億2千万円の増を見込んでいますが、個人市民税所得割額は、一人当たりでみると937円減少しています。税制改正を考慮すれば、さらに減少額は膨らむことになります。市民生活は、引き続き厳しい状況が続いていると言ふことになります。歳出では、高齢者・障がい者を対象に新規事業として家具の転倒防止金具等取付業務が予算化されました。住宅改修資金補助金については前年度比500万円増の1500万円が計上されています。いずれも評価されるものです。また、新年度から認可保育所2箇所が新しく開所します。4月入所時では待機児童はゼロ、入所枠には余裕があるということでした。いずれも駅に近いところであり、市民ニーズに応えることのできる運営が求められることから市の積極的な援助・指導を求めます。保育園の調理業務委託契約が計上されています。すでに入札がおこなわれていますが、だいぶ安価な契約額になりました。子どもたちの日々の体調に即応できる給食を作るためには、保育園長や担任保育士・栄養士が綿密な連携のもとに実施されるべきものと考えます。偽装請負ということにも注意を向けながらの委託業務となることから、市の直営化を検討すべきです。手代橋維持負担金が計

上されていますが、老朽化が進んでいることから今後の方向性を早急に検討すべきです。八潮らしい街並み景観形成支援補助金は、景観まちづくり促進区域を中心とするなど、事業実施方法を見直すべきと考えます。八潮市では、近隣自治体と比べ評価できる施策がある一方、子ども医療費助成制度の立ち後れなどを指摘する声が聞かれます。限られた予算を効果的に活用するというところで「選択と集中」ということが言われますが、事業の選択に当たっては、より直接的に生活に根ざした事業にこそ振り向けるべきと考えます。市政運営に当たってより一層の努力を求め討論とします。

賛成討論（民政クラブ）

平成25年度八潮市一般会計予算の歳入では、市税のうち、法人市民税は税制改正等に伴う減額が見込まれるものの、新築家屋の増加等に伴う固定資産税の増額や、税源移譲によるたばこ税の増額が見込まれることなどにより、市税全体では、対前年度比約3億2000万円の増となっています。

また、国庫支出金においても、生活保護に係る財源などを見込むことにより、対前年度比約7800万円の増となっており、今後の景気の動向などを見据え、適正かつ積極的に財源の確保に取り組んでいるものと考えられます。一方、歳出では、平成24年度から2カ年の継続費として実施している駅前公園の整備に

取り組むとともに、中馬場排水機場のポンプの更新に係る経費などを計上し、快適で便利な都市基盤の整備に向け取り組んでいる姿勢が伺えます。生活環境関係では、東日本大震災などを踏まえ、昨年に引き続き本市の地域防災計画の修正を行うとともに、防災行政無線親局設備のデジタル化に係る経費、市営住宅の耐震化に係る経費、八潮駅北口周辺に防犯カメラを設置するための経費などを計上し、安全・安心な環境づくりに向け取り組んでいるものと考えられます。福祉関係では、保育所待機児童解消を図るため、新たに設置された、私立の認可保育所2園へ保育事業を委託する経費や、高齢者及び障がい者のみの世帯等に災害時の家具転倒を防止する器具の取付に係る経費や、埼玉県からの権限移譲に伴う未熟児養育医療給付事業の実施に係る経費などを計上し、ふれあいと思いやりのあるまちづくりに向け取り組んでいるものと評価できます。以上のことから、平成25年度の一般会計予算は、大変厳しい経済状況のもとではあります。更なる収入の確保、既存経費の見直しや施策の厳選に努め、編成されたものであり、多様化・高度化する市民のニーズに可能な限り積極的に対応しようとする姿勢が伺えます。最後に、本予算の適正な執行に努めていただくとともに、今後も健全な行財政運営を期待いたします。賛成の討論といたします。